

# 実績報告書

届出者	住所	兵庫県加古郡稲美町中一色833番地	氏名	株式会社神戸物産 代表取締役社長 沼田 博和
特定事業者の主たる業種		58 飲食料品小売業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に食料品の販売を行っており、2017年3月末時点で全国で757店舗出店し、内、大阪府内では84店舗の出店を行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
2017 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	23,775 t-CO <sub>2</sub>	25,122 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	28,042 t-CO <sub>2</sub>	29,628 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
	レ	削減率(原単位ベース)	3.0 %	6.3 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	6.3 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 業務面積 m <sup>2</sup> * 営業時間 h )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>各オーナー・各店舗の電力に対する意識も高まる中、例年通りエアコン・照明・冷蔵ケース・冷凍ケース等を適正に使用できるよう周知徹底に努めました結果、各店舗の温室効果ガス削減への意識づけに伴った削減行動(主に省エネ電球・冷ケースの周期的なメンテナンスによる電力使用効率向上・エアコン・室温の省エネ設定等)がみられるようになりました。本年度の削減率はその成果だと考えさらに推進して参ります。</p>
--

(2) 推進体制

エアコン・照明・冷蔵、冷凍ケース等を適正に使用するよう推進して参ります。

## 実績報告書

届出者	住所	大阪市東淀川区東淡路5-8-38	氏名	株式会社国際興業大阪 代表取締役 山本 康夫
特定事業者の主たる業種		43道路旅客運送業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に、タクシー事業で淡路営業所250台・我孫子営業所149台・茨木営業所36台・摂津営業所20台で合計455台で旅客運送事業を行っております		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2017年 4月 1日～ 2020年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	12,849 t-CO <sub>2</sub>	8,152 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	12,868 t-CO <sub>2</sub>	8,180 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	36.6%	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1%	36.5%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>営業車の日常点検及び、法定点検でタイヤの空気圧を基準値調整する事で、燃費の悪化や、事故防止につとめてまいります。全営業社員に休憩時、待機時間が長い場合アイドルングストップ実施を継続。</p>
--

(2) 推進体制

従来のエコドライブ実施及びアイドリングストップの徹底指導に加え、冷暖房の設定温度を定め、使用量削減を目指す。

# 実績報告書

		大阪市淀川区宮原1丁目6番10号		株式会社互惠会 代表取締役 佐藤 文平
届出者	住所		氏名	
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ベッド300床の入院病棟・診察病棟などを有する総合病院		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2017年 4月 1日～ 2020年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	3,202 t-CO <sub>2</sub>	3,280 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,328 t-CO <sub>2</sub>	3,409 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.2%	-2.5%	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.3%	-2.5%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 延床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>基本的に年1%の削減を目標としておりますが、病床稼働率及び近年の夏季の気温上昇等から平成28年度から平成29年度にかけては温室効果ガスの排出量が増加となった。</p>
--

(2) 推進体制

エネルギー使用に関するデータを共有、平年と比較し現状改善を検討する会議を開催。また平年と比べエネルギー使用量が著しく増大している場所・機器等が有れば原因を調べ改善を図れる体制をとっている。

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府枚方市春日北町1-40-1	氏名	寿ダイカスト工業株式会社 代表取締役 佐伯 幸一
特定事業者の主たる業種		23非鉄金属製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主にダイカスト製品の製造を行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2017年 4月 1日～ 2020年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	5,887 t-CO <sub>2</sub>	6,539 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,253 t-CO <sub>2</sub>	6,919 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.0%	-1.0%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1%	-0.6%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(アルミ使用量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>H30年度は、「照明のLED化の推進」「空調更新時にGHPの導入」等ハード面で積極的に省エネ活動を行いました。しかし、弊社は受注生産での業務形態の中、昨今は非常に受注増の状態が続いております。従って、生産設備の更新や導入に伴い、工場稼働時間の大幅増などもあって実質工場全体ではCO2排出量が削減に繋がらなかったと考えられます。引き続き可能な限り、省エネ活動推進を進めて参ります。</p>
--

(2) 推進体制

効率的な生産体制を強化する中で、省エネ活動とともに地球温暖化防止活動に取り組みます。



# 実績報告書

届出者	住所	東京都品川区東品川4-10-1	氏名	株式会社コナミスポーツクラブ 代表取締役社長 落合 昭
特定事業者の主たる業種		80娯楽業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		フィットネスクラブ運営		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2017 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	20,634 t-CO <sub>2</sub>	17,466 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	22,624 t-CO <sub>2</sub>	19,133 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	15.4 %	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	15.5 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>全社的にエネルギーコスト削減＝温室効果ガス排出量削減に取り組んでおり、基準年度から大幅な削減を達成しています。設備投資では動力システムのインバーター制御システムを導入し、効果が出ています。それ以外でもWEBを使ったエネルギー監視などにより、こまめなオペレーションにて削減を行ってきたことが大きな成果に結びついています。</p>
--

(2) 推進体制

社長

└ 計画管理責任者<エネルギー管理統括者> (執行役員)

└ 計画推進責任者 (兼) 技術管理者<エネルギー企画推進者> (施設管理グループ 統括M)

└ 【各施設】 エネルギー管理統括 (施設管理グループ) / エネルギー企画推進者 (支店長)